

郷土研通信



エゾトリカブト
アイヌ語名 スルク
（『阿寒・摩周の植物』細川音治著）

発行：てしかが郷土研究会 北海道川上郡弟子屈町中央3丁目2-10
発行者：松橋 秀和

八月例会

一瞬、夏が来た！と思った
ら曇り空が続きました。恒
例の民族の大移動も落ち着
いた八月二二日に例会が開
催されました。稼ぎ時の真
最中八名が出席しました。

例会議題

近況報告

☆山本正裕さんの

写真作品一位に！

作品名「お婆ちゃんたち
の時間」が北海道写真協会
釧路支部7月例会で一位に
選ばれました。公園の日陰
の片隅で何を語っているの
か、二人の老女と思われる
人物のほのぼのと静かな時
間の流れが感じられる風景
を切り撮った作品です。



一位に入選した作品

☆山岳写真家水越武氏の

写真作品を弟子屈へ

水越武氏の写真展で披露さ
れた作品は現在、斜里町の
「北のアルプ美術館」に保管
されています。

これらの作品は弟子屈町
にとつて貴重な財産である
と思うことから、当会で責
任を持って保存することが
できないか検討したところ、
弟子屈町の絶大なご厚意に
より摩周観光文化センター
に一時保管する場所を確保
することができました。
後日当会で搬入する予定
です。



☆ふるさと歴史館の

所蔵資料紹介される

北海道新聞の「2025年
戦後80年に向けてー天
皇と戦争③」の特集記事で、
当会が蒐集した資料が紹介
されました。



北海道新聞 2024年8月18日

ふるさと歴史館所蔵の資料

資料の提供

小林氏から資料の提供があ
りました。

・道新記事「2025年

戦後80年に向けて」から
玉音放送の記事ほか。

・町内にある国指定史跡

チャシの地名解

・「開拓の人柱（その一）

釧路集治監（1）〜（5）

更科 忠 著

☆阿寒摩周国立公園

指定90周年記念式典開催

来る九月二七日（金）摩周
観光文化センターで開催さ
れます。一般観覧者は自由
参加です。

当日の午前中には、「永山
峠」の標柱が双岳台に建立
されます。

「農協だより」に掲載され
たものです。

この広報誌の原本がない
か問い合わせしてみました
が、不明でした。

当町の歴史を証言するシ
リーズ作品であるので、ぜ
ひとも全編を探したい、と
思うのですが。

勉強会

しよこつがわ

連携研究会との

交流報告

報告者 斎藤敬子さん

滝上町で活動する同会と

松浦武四郎でござ縁があつた齋藤さんが現地を訪れ、同会の会長さんから同地の様子や活動状況などの解説や意見交換をされてきたことを報告されました。

当会が発足したとき、他の町村で郷土資料の保存活動をしているところを視察したことがあります。そのとき滝上町の民間が保存展示している資料館を訪問したことがあります。

会員の中で、滝上町が村の時代に祖父が村長をしていた、と言う方がいて、これも何かの縁であるので同会と機会があれば交流をしたい、との話ができました。

次回の例会

令和六年九月二十五日（水）
一九時から

ふなと歴史館

むかしむかし写真館

No.345

テシ・カ・ガと「カラスの湯」

弟子屈の地名は、テシ（築）カ（上）・ガ（協調か？）川底が岩盤で築（ヤナ）のようになっていると

ころ、と解釈することが郷土研究会の認識である。

写真①は、弟子屈橋上流左岸からで、白波の立っている上が岩盤になっている。

写真②はその右岸からの風景である。女性の方が川に向かってかがんでいるのが解る



写真① 釧路川左岸



写真② 釧路川右岸

と思うが、洗濯物を川の流れてゆすいでいる風景である。

ここにはぬるい温泉が湧いているところがあり、「湯壺」・「カラスの湯」とも言われていた。篤志家がお湯を汲みやすいように、温泉の湧くところに囲いと洗濯場をこしらえてあり、近所の女性たちは冬でも温かい温泉

で洗濯をすることができた。

対岸の建物は旅館銀林荘で、川に面した壁を川をさかのぼる舟に見立てた造りにしてあった。この部屋に泊まった客は、最初は川の流れを見ながら旅の疲れを癒していたが、夜になつて寝床に入ると川の岩盤を流れ落ちる水の音が一晩中気になって眠れず、旅の疲れが倍になった、と洒落にもならない状態になつたとのことである。